

## 中野市立小中学校 ICT 環境整備及び活用計画

### 1 計画方針

中野市教育大綱の5つの柱の一つ「3 時代に対応した魅力ある学校教育の推進」を考慮して、新しい時代に生きる力を身に付ける教育の実現及び GIGA スクール構想の実現を図るため、児童生徒1人1台の端末整備を行い、また、ICT 支援員等を配置し、授業等における ICT 活用の推進を図る。

### 2 整備計画

#### (1) 通信ネットワーク環境整備計画

##### ア 校内 LAN 整備計画

公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金を活用し、令和2年度中にネットワーク機器及び校内配線（Cat6a 等）への更改等を図り、ギガレベルでの高速大容量通信ネットワークを整備予定

##### イ 無線アクセスポイント設置箇所

普通教室、特別支援教室、体育館、一部特別教室へ設置を予定

##### ウ インターネットへの接続構成

学校からの回線で直接インターネットに接続する方式とし、最大1Gbps以上のベストエフォート回線を予定

#### (2) 学習者用コンピュータ配備計画

一般財源で整備する分も含め、令和2年度中に児童生徒1人1台端末の整備を行う（令和元年5月1日時点児童生徒数3,394人）

### 3 各年度における ICT 活用目標

#### (1) ICT 活用について

- ・令和4年度末までに、児童・生徒用学校評価アンケートで「授業でタブレットなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか。」という質問に「ほぼ毎日」と答える児童・生徒の割合を80%以上とすることを旨す  
（選択肢は①ほぼ毎日、②週1回以上、③月1回以上、④月1回未満とすることを想定）

#### (2) 臨時休業や学級閉鎖等における ICT を活用したオンラインによる学習支援

- ・学習支援サービス（ドリル教材等）を活用し、一人ひとりに適した学習の実現を図る
- ・クラウド型学習支援ツールを日常の授業において積極的に利用することにより、臨時休業等の際も、学校と自宅とをつないだオンライン授業ができるようにする

#### 4 指導体制の強化や働き方改革（校務の効率化）への対応

##### (1) ICT 支援員の配置

ICT 学習指導力の強化及び教職員の授業負担の軽減を目的に、ICT 支援員を配置し、授業支援、校務支援等のサポートを行う。文部科学省「教育の ICT 化に向けた環境整備 5 か年計画（2018～2022 年度）」に掲げる支援員配置を目指す

##### (2) 統合型校務支援システムの導入

令和 3 年度から段階的に統合型校務支援システムを導入し、校務の効率化を図る

#### 5 達成状況を踏まえたフォローアップ

- ・各年度の教職員の ICT 活用指導力調査の結果を踏まえて、必要に応じて教職員を対象とした研修を実施する